

THE SAISON FOUNDATION

2017年9月25日

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

公益財団法人セゾン文化財団では、2017年度の「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェロー」の一環として、ラトビアのNEW THEATRE INSTITUTE OF LATVIAでプロデューサー、プログラム・キュレーターとして活動するラウラ・スタザネをお迎えいたします。

ラウラ・スタザネは演劇とダンスを中心にプロジェクトやフェスティバルを企画・制作する組織 NEW THEATRE INSTITUTE OF LATVIA でコンテンポラリーダンスのプログラムを担当し、ラトビアを代表する舞台芸術フェスティバル「Homo Novus」や、国際プロジェクト「Dance Move Cities」等を手掛けています。「Dance Move Cities」では、2014年の欧州文化首都(リガ)開催時に contact Gonzo を招へいし、地元のダンサーやパフォーマーとともにサイト・スペシフィックな作品のプロデュースを行いました。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、「Researching the relationship with local」と題し、地域やコミュニティに関わる日本の振付家やダンサーの活動についてリサーチを行います。

ヴィジティング・フェローでの滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただけます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2017年10月3日(火)-10月21日(土) 予定
*10月10日(火) 19:00-20:30、東京芸術劇場アトリエーストにてパブリック・トークを開催予定。詳細は当財団のウェブサイトをご覧ください。
- 滞在所 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6)
- 滞在目的 「Researching the relationship with local」
地域やコミュニティに関わるアーティストの関心を持ち、それらの文脈がどのように作品やプロジェクトに反映され、また、その作品やプロジェクトから地域やコミュニティの再生やエンパワーメントになる潜在的な可能性のリサーチを目的とする。

 平成29年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

プロフィール

ラウラ・スタザネ(Laura Stasane) ラトビア



ラウラ・スタザネ

ラトビア文化アカデミーで国際文化関係を専攻。2005年から New Theatre Institute of Latvia でプロデューサー、プログラム・キュレーターとして活動する。主にコンテンポラリーダンスのプログラムを担当し、ラトビアを代表する舞台芸術フェスティバル「Homo Novus」や国際プロジェクト「Dance Move Cities」等を手掛けている。「Dance Move Cities」の一環として、contact Gonzo を招へいして作品をプロデュースしたほか、2015-16年にはハイネ・アヴダルと篠崎由紀子を招へいし、ラトビアの振付家や音楽家との共同制作作品をプロデュースしている。

日本には、2011年の TPAM in 横浜に来日した。

公益財団法人 **セゾン文化財団**

〒104-0061 東京都中央区京橋3丁目12番7号 京橋山本ビル4階 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565